

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第23号

福山市身連通信

2016 (H. 28) 年 7月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目 次

福山市身連 新年度総会 第1回人権学習	1
平成二十七年年度決算報告	2
全国(きょうと) 大会参加 一	3
全国(きょうと) 大会参加 二	4
障がい者相談員研修会 障がい者相談員協議会 総会	5
更新身体障がい者相談員名簿	6
福山市身連 理事会・連絡会 障がい者相談協 役員会	7
福山社協 理事会・評議員会 県障害者陸上大会 他	8

NPO法人福山市身体障害者団体連合会

2016年度総会開催

日時 平成28年5月15日午後
会場 福山市人権交流センター

新年度を迎え市身連は総会を、京都での全国大会を終えてすぐの五月十五日、事務所のある人権センターの学習室を会場に開催しました。

午後からの開会でしたが、総会后連合会行事の一つとして精神の相談員の岡氏を講師に人権学習を予定して、今年度役員改選もないので早めに総会を終え行事をできると予定しての開会となりました。今総会の出席者は三十名を少し切る程でしたが、欠席者のほとんどは委任状を提出しており、総会は問題なく成立となりました。

理事長挨拶のあと議長に昨年と同じく甲斐理事、田上理事の二氏を選出、二人議長で議事に入りました。

先ず、議事録署名人に加茂協会の藤原氏、福山協会の大村氏を選任して、前半甲斐議長で前年度事業報告・決算報告それと監査報告をそれぞれの担当から報告し、ここでそれに対する質問を受けました。一、二の確認の質問のあと、執行部の一員ですが会員席にいた藤井副理事長から相談員関係の質問が

ありましたが、今年度の計画等で提案していることにも関係するので、その時点で応答しますと後半の議事に入り、ここから議長を田上氏が変わり、新年度事業計画案・予算案の提案をして、質疑に入りました。

ここでの質疑で、前川理事等おもに視覚協会から発言があり、協会が解散したり、会員が減少していることに自分たちは会員を増やしたり、相談員を増やすこともできるが連合会はどう対応するのか、予算案で経費を使うと連合会の金が目減りしていくが、事業案が具体的に出来ないとか質問が続きましたが、本来総会に向けての理事会で今後の連合会の事業や収入について討議しており、これらの件は短時間で結論の出ることではなく法人体制の維持に関する事と一緒に、総会の議事としてでなく、今年度の課題として考えようと決めており、その時点で藤井氏の資料は間に合っていないかったものを総会に持ち出して、理事会での約束を守らない理事の発言はやめてもらい、また、市は減らす話をし

て来ている相談員を増やす話も余りにも空気を読めない話なのでひかえてもらって、予算案等の採決をして可決されました。

これらの質疑で予定していた時間は長引いたため、総会后予定していた連絡会の前に人権学習に移ることとして総会を終了しました。

第一回人権学習
精神障がい者に対する
施策の変遷
障がい者相談員 岡優範講師

四月に行われた障がい者相談員協会の役員会の時、総会に向けての議題の他に、精神障がい者相談員の岡さんから依頼のあった、署名活動のお礼と共に、精神障害者に対しての治療や施策に関する資料が少なく、自分でいろいろ調べて見たことについて、聞いてもらいたいと要望があったため、そのための時間を作り、自分たちも人権学習として勉強しようと、会員の多数集まっている総会のあとでその時間を取り、岡氏の調べた歴史等について勉強しました。

総会で承認された福山市身連平成27年度決算報告

特定非営利活動法人福山市身体障害者団体連合会

活動計算書

貸借対照表

どの表も単位は円

平成27年4月1日～28年3月31日

平成28年3月31日現在

科目	金額	合計	科目	金額	合計
I 経常収益			I 資産の部		
1 受取会費 正会員	29,500		1 流動資産		
団体会費	61,000		現金預金	3,373,231	
行事参加会費	918,000		2 固定資産		
2 自販機事業収益	159,336		有形固定資産	0	
3 受取寄附金	12,000		無形固定資産	0	
4 助成金 福山市	1,200,000		投資その他資産	0	
日身連	30,300		資産合計		3,373,231
5 その他 利息	704		II 負債の部		
広告料	120,000		1 流動負債		
経常収益 合計		2,530,840	未払金	38,215	
II 経常費用			未払税金等	92,600	
1 事業費			2 固定負債		
旅費交通費	934,306		固定負債	0	
通信運搬費	90,202		III 正味財産の部		
消耗品費	81,157		前期繰越財産	3,648,178	
印刷製本費	70,740		増減額	△ 405,762	
参加研修費	439,994		正味財産合計		3,242,416
水道光熱費	51,840				
謝金、会費	10,000				
負担金	744,520				
会議費	172,260				
各税金	93,202				
雑費	10,196				
事業費 計		2,698,417			
2 管理費					
会議費	4,170				
旅費交通費	32,810				
通信運搬費	7,947				
消耗品費	40,370				
水道光熱費	45,168				
諸会費・雑費	107,720				
管理費 計		238,185			
経常費用 合計		2,936,602			
正味財産減額		405,762			
次期繰越財産額		3,242,416			

財産目録

平成28年3月31日現在

科目 金額 合計

I 資産の部		
1 流動資産		
現金	8,545	
広島銀行預金	528,386	
JA普通貯金	136,300	
JA定期貯金	2,700,000	
2 固定資産	0	3,373,231
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	38,215	
未払税金	92,600	
2 固定負債	0	130,815
正味財産合計		3,242,416

第六一回日本身体障害者福祉大会

きょうと大会へ福山ツアーで

五月二日～三日 京都パルスプラザ

今年の五月はすでに平年の雨量

を超えてるとかで、十日も雨が降っ

ていましたが出発の朝は傘の心配

がいらないう天気となって早朝から

気持ちよく出発となりました。

今年の全国大会は観光名所の京都で開催なので市身連の参加者はそこそこあるものと思っていました。ところが、募集して見ると意外と参加者は集まらず、しかし県身連のツアーはすでに締切られており、幹部だけでも新幹線で参加するかと話し合っていました。根本理事から自分たちの経験からレンタカーでの方法もあるのではと提案され結局全面的に根本氏に委任して、十余名のレンタカーでの計画で行程を立て、宿や観光の手配もして運転手二名のボランティアも用意してもらって一泊二日の大会参加

となりました。

第一日

レンタルの中型バスで、早朝新市から神辺で参加者を乗せて駅裏で運転の二名共で総勢一三名が揃い、福山東インターから高速にのり京都へと出発しました。

初日の行程は、京都に着くまで渋滞もなく予定通りに着きましたので先ず亀岡市の大石酒造によりここを観光の口開けと酒蔵の見学や利き酒をして楽しんでいううちに、今回の観光のメインである保津川の乗船場に根本氏が連絡して時間の確認をした所、「昨日までの雨で川が激流なので今日は船の運行が出来なくなりました」と残念な事になりましたが、天候のことなので仕方なく予定変更となり

ました。

そこでお寺には事欠かない京都ですが、寝そべっている仏様のいる穴太寺へ参り、参拝者が自分の痛いところや悪いところを触って仏様の同じところを撫でながら良くなるようにお祈りすると、御利益があると言われ、それぞれ自分の思うところを触ってお願いしてきました。

そこから保津川を下ったときの終点となる嵐山の渡月橋辺りに行ってそのあたりを散策したり、土産物を見て回ったりしばらく和ん前から予定のコースにもどり、下京区の西利本店という漬物屋に行きそこでは色々な京都らしい漬物が試食できる部屋があって、ワインやお茶を飲みながら漬物パーティーとなりました。いろいろ食べた中でそれぞれが好みだったものを買い求めてお開きとなり、宿へと向かいました。

ホテル東山閣へ

観光のメッカだけに最初の行程案では京都以外の宿しか取れませんでした。根本氏を探してもらった



た東山閣は東区内で宿代も予算に叶い、ツイン5部屋と、もし参加者一、二名増えても対応できるように和室一部屋を予約してもらっていました。協会の持ち帰って参加者を募集して見ると言われた協会からの連絡は前日までなく、和室への増員はありませんでした。全員揃っての夕食は、運転手さん共で十三名だから大宴会ということにはなりません。保津川下りの行程が中止になり、その予算が酒代に (次ページに続く)

(前ページから続き)

まわせませよと言われて費用の心配なく楽しく飲めましたが、何しろ少人数です。その経費は大したことありませんでした。

第二日 大会会場へ

一二日朝私たちは宿から大会会場まで三〇分ぐらいで到着し中に入りますと、広島県の席は会場中央の表彰者の席のすぐ後ろで劇場だとS席のようなところでした。

自分たちが着席しても県身連の団体は神戸からの来場なのでしばらく到着せずアトラクションの間もポツカリ空席でしたが、開会には間に合い、その頃福山の前川・藤井貢両氏も顔を出されました。

京都の身障団体は府の会長も市の会長も国会議員の福山氏や伊吹氏で、弁のたつ人たちです。ので挨拶もさす。がでした。

今年三月日身連会長の松井逸朗氏が急逝され、かわって仙台の阿部一彦氏が会長に就任されており今回初めての全国大会となったようです。

京都芸大の学生たちの演奏によるアトラクションがあって大会は



型通り開催となり、開会の挨拶のあと各県等から推薦された一名づつが表彰を受け、ここで小休憩をして後半の議事に入り昨年度の事業報告等の報告があって、今年の大会宣言、大会決議がそれぞれ提案されていずれも拍手で持って賛成可決され議事を終了し、来年度京都からは近い岐阜県での開催と決まりました。開催県の挨拶があって、閉会となりました。

広島ツアーの人たちは会場で弁



当を食べて観光に行くと話していましたが、私たちはここを出てこれから行く京都鉄道博物館に弁当を注文してあるということなので会場をあとにしてバスで博物館に向かいました。

ゴールデンウィークに向けて開業したばかりの博物館は実物の機関車などを数多く展示してある大きな施設で、屋外にも色々な鉄道そのもので使われていたものがあって、全体を見て回ると何時間かか

かりそうでした。

私たちは入館するとすぐ注文してあった弁当を受け取り車内を食堂の様に改造した列車の席順を待ってその中で昼食をとってから各自好きなところから見て回る事になりました。

新旧の車両そのものや、小物、関連グッズの展示してある出来たの博物館は全てが新しく綺麗でしたが、二階の食堂から外を見るとすぐそばを新幹線が通り、その向こうには東寺の五重の塔が見えていて、駅に近い都心に大きな施設がよくできるもんだなとそれに感心しました。

この見学がすむと福山からのツアーは予定を終え一路福山へ向けて帰るのみとなり、途中何ヶ所かのサービスエリアによってトイレを済ませ又トイレのもとを仕入れて飲みながら無事福山へ帰ってきました。今回のような参加方法は始めてでしたが、根本氏が旅行社並みに連絡を取りながら対応されたのでみんな気楽に旅が出来帰ってこれました。お世話になったこと御礼あるのみです。

二〇一六年度（平成二八年度）

福山市障がい者相談員研修会

時 二〇一六年六月一七日
所 すこやかセンター二階

今年度障がい者相談員が更新されて、福山市による定例の研修会は案内状では内容が詳しい知らされず参加案内されていましたが、身体関係は出席率よく参加してすこやかセンターの地域ケア研修室で行われ、今年の研修では外部からの講師ではなく先ず障がい福祉課支援給付担当の中山康孝次長により改めて「障害者手帳」についての研修で、所持者に対する色々な施策の説明があつて、次に四月から施行された「障がい者差別解消法」についての講習で、施行になつて何かが即変わるのではなくて現状の中でどう対処出来るから始まり、設備やインフラなどだけでなく無理なく健常者並みに対応して行けるか徐々に作り上げて行

くような対応になる説明でした。次に相談支援担当の佐藤智子次長による「基幹相談支援センター」について説明され、市から社協に委託されて総合的に障がい者の相談事業を行っているクローバーと呼ばれる事業について、年間どのような相談がどのくらいされているか等の概略の報告とか、ここに相談をしたいときの方法などについて説明がありました。小休憩後活動事例報告というところで2名ほどの予定者のうち1名は他の日程と重なり、菅原相談員の発表のみで、自身車イス使用者としての思いや協会の同様な人たちとの相談事例についての話をされました。以前から障害者駐車場等について

も意識が変わらず理解がないこと、また災害時弱者であるのは間違いないが行政等との話でも隣人と仲良くして助けてもらえと言われるとか愚痴を話し合っているのが現状と話されていきました。

.....

福山市障がい者相談員協議会総会

地域ケア研修室 研修会後

福山市による相談員研修会が終わり少し休憩とつて同会場での相談員協議会の総会を開催しました。改めて会長挨拶をして、総会進行は田上事務局長があたり、出席者数は総会成立にかなつていますと宣言して議長に甲斐氏を選出して議事に入りま

議事は先ず前年度の事業報告・決算報告そして監査報告を一括して報告をして質疑に移りましたが、これにはほとんど質問はなく、承認されました。続いて今年度の事業計画案・予算案が提案されて質疑となりましたが、園生会計が予算案を作った時市から聞いていた相談員数が一名違っていたということで収入の部に補正を加えての提案となりました。ただ問題点のある予算というわけではなく承認となりました。

予算案には今年広島で研修会があった場合にと交通費を計上していましたが、総会の二日程前身体指導者合同の宿泊研修を予定しており今後具体的な計画を立てて案内するという通知が来ていました。それには宿泊費一四〇〇〇円の予算とありましたが、今後の通知を元に福山市身連としても相談協と協議して福山の参加の仕方について案を作り募集する事になる予定です。

2016～2018年新任福山市身体障がい者相談員名簿

2016.4.1							
所属	氏名	電話	相談協	所属	氏名	電話	相談協
芦田	甲斐 賛	958-2566	理事	新市地区	重藤 弘明	0847-51-8667	理事
加茂	鎌刈 拓也	972-2095	顧問	新市	三島 茂	0847-51-3330	会長
	森岡 猛	972-8397			山本 清人	0847-51-3185	
	藤原 信弘	972-8154	理事	駅家	高橋 孝子	976-7529	(知)
	高橋 正通	972-4180		聴・中途	西野 忍	FAX 983-3204	
神辺	園生 浩治	962-1252	次長・会計		坂井 章	FAX 951-3289	
	田上 敬二	966-1634	事務局長		井上 佐智子	FAX 951-6365	理事
	永見 大輔	963-2437		福山	種本 益明	953-5861	
	藤阪 美子	963-0601			大村 徳子	951-3103	
車いす	谷本 博美	931-9535			村上 友一	921-1399	副会長
	菅原 晃	954-1937			盛次 紀行	941-3090	
	坪山 明生	936-0566	監事		中山 正	925-3597	
視覚	前川 昭夫	959-0781	顧問		白石 憲式	951-0335	監事
	藤井 貢	943-2850	理事	聴覚・言	門田 潤美	FAX 926-6380	理事
	岩崎 周市	0847-51-5407			黒木 純子	FAX 962-2614	
	根本 敏太郎	920-5323	理事		杉原 瑞枝	FAX 951-2508	
	佐藤 行伸	934-2509			原田 富雄	FAX 941-0568	
	中村 悦子	943-5684		松永	小川 愛二	936-0321	理事
相談員退任 協議会役員				○ 身体以外の協議会理事			
	三島 健治郎		副会長	知的	高橋 洋子	975-3455	理事
	藤井 武儀		事務次長	精神	岡 優範	090-3635-7374	理事

4月23日 福山市身連関係トリプル会議

福山市身連 理事会 福山障がい者相談協役員会 福山市身連 連絡会

福山市身連は年度も変わり総会開催のため報告や計画を検討して提案するための理事会を、会計監査の出来たこの時期に開催としましたが、この時期各理事もいろんな日程が詰まっていてこの機会に五月の連絡会も済ませ、尚且つ障がい者相談員の総会に向けた役員会も合わせて予定して過密日程での開催となりました。

理事会

理事会は総会に出す事業報告の前に事務局で「初めに」と文言をつけましたが、その文章について少々クレームが付き討議の結果、外部に対し差し障りのないものにすることで決着しました。又来年度の予算案についても、赤字状態の予算案となっているのは不自然だということで、予算に手当して収支の合うものにする事となりました。事業報告・決算報告そのものには問題なく承認となりましたが、法人としての事業や存続については簡単に決められることなく、総会ではなく年度を通して

の課題とすることになり、総会の案件は済みました。その他の件で理事から市からのいろんな委員の更新について質問があり、自分が内定されているはずがほかの人名前が出ているのはなぜかと聞かれ、今年市からの要請には特に記載があり、一人の人に委員が偏っているの、出来るだけいろんな人に対応してくださいとあるので、ほかの人を推していると説明しましたが話が終わらず顧問の理事から議事を長引かせてみんなに迷惑かけるなど言われて理事会を終了しました。

相談協 役員会

予定では続いて連絡会でしたが相談協の役員が来て待っておられるので、先に役員会として、こちら市の新年度研修会の日に合わせて総会の開催を予定しており、その資料等について役員会にはかり検討することとなりました。

今年度相談員は更新されましたが規約では相談協の役員の更新年になっていけませんので、質問は少々

ありましたが問題なく総会を迎えられるようでした。

改めて連絡会

それが終わって改めて市身連の連絡会として始め、たちまちゴールデンウィークを終えると県スポーツ大会があり、福山からも選手・応援のバスを出すその行程表や、一日から京都に行く全国大会の日程についての確認、又九月だからまだ先ですが県の福祉大会の募集と表彰者の推薦についての案件それに市の委員の更新で、総合支援協議会の委員の選出等のことについて討議し、参加・推薦等については各協会に持ち帰り六月に報告を出すことになりました。

今回一度に会議を済ませると便利だと三つの会議を一日でしかも午後から始めましたので、ゆっくと気の済むまで話し合っていては時間が足りなくなり、時間を気にしては十分な話が出来なく今後二つの会議が精一杯と思われ

社会福祉協議会理事会・評議員会

五月三十日 すこやかセンター

協議会の経理の仕方に変更があったため単純に前年度比を出すわけにいかないの、別紙で参考資料を出して説

福山市社会福祉協議会は五月三十日午前中理事会、午後評議員会を開催し、平成二十七年の事業報告、決算報告がありました。

例によって事業の部門が多岐に渡っており各事業ごとの担当から概略の説明がされましたが、問題になる事例などなかったようです。そして決算報告では、前回の会議で説明があったように、社会福祉

障害者関係では福山市から出ていた重度障害者への年金のような補助が廃止になって障害者の福祉に回しますと言われていましたが、

事務所へ挨拶回りに

今年度福祉事務所は幹部の方の全面的な異動があり、我が事務所へも新任の挨拶にこられました。

保健福祉局長

神原 大造氏 (部長兼所長から)

福祉部長・福祉事務所長

井上 博文氏 (子育て支援部長から)

障がい福祉課長

小川 栄治郎氏 (介保課長補佐から)

の三氏が来訪されました。

障がい福祉にしっかり理解ある対応をお願いしたいところです。

障害者支援センターという項目で計上されていて、これは老人、子供等と障害者全ての相談事業を受ける人件費に総額六千八百万円のうちほとんど額が当てられている決算となっていました。

その他に少し人事の異動の報告や、理事の新任の承認等があった会議は終了となりました。

広島県障害者陸上競技大会

五月八日 東広島 アクアパーク

福山からも身体の選手十何名かと応援者がバスで参加してきましたが、今年から広島県に発足した「広島県障

広島県の障害者陸上競技大会が「障害者スポーツ協会」が主催者となりゴールデンウィーク明けの五月八日東広島市の陸上競技場で開催され、身体、知的の一五の競技に今年選手は五三〇人とこれまでで最多の参加者で好天のなか行われました。

平成二十八年広島県身体障害者福祉大会

開催日時 平成二十八年九月七日(水) 十時

開催場所 尾道市東御所町 しまなみ交流館

参加会費 1000円 (大会会費のみ 弁当含まず)

福山市身連でバスを仕立て、参加者を募集する予定です。

編集委員会より

広報としては、広告が一口復活していただきましたので発行の励みになります。うれしいことです。

二十八年度初めての広報でお伝えしたいことはいろいろあります。が頁数もあり大きな事業活動を選んで発行しています。今年度役員改選の年ではなく、総会後の法務局や県庁への届け出もあり面倒なく終わったようです。

ただ市身連としては団体を盛り上げる事業はやりたくもその体力に問題ありで、今年度の課題としてじっくり検討し団体がいかに健全に継続して行けるかが問題点となりそうです。人も組織も老化はきびしい現実ですかネ。

(M)